



市房山からの初日の出

議会だより

第37号

もくじ

12月定例会 ……………	14	一般質問……………	16
●一般会計補正予算…	15	第7回臨時会……………	18
●特別会計補正予算…	15	編集後記……………	18

令和4年第4回定例会が12月6日に開催され、人事案件1件、条例の改正等7件、補正予算5件などが提案され、いずれも審議の結果、原案のとおり可決した。

条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	任期満了に伴う次期委員に五家 ^{ごか} かずひさ一久氏（幸野）を推薦	賛成 (全員賛成)
議案第1号	水上村人権擁護に関する条例の一部を改正する条例の制定	上位法である国の法律の改正に伴うもの	可決 (全員賛成)
議案第2号	水上村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	特別職の給与変更に伴うもの	可決 (全員賛成)
議案第3号	水上村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	一般職の職員の給与変更に伴うもの	可決 (全員賛成)
議案第4号	水上村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	会計年度任用職員の給与変更に伴うもの	可決 (全員賛成)
議案第5号	水上村立武道場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	義務教育学校開校に伴い武道場に関する条例を廃止するもの	可決 (全員賛成)
議案第6号	水上村立学校統合に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	義務教育学校開校に伴い関係する条例の字句を整理するもの	可決 (全員賛成)
議案第7号	水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	資産割廃止に伴う激変緩和措置(3年目)によるもの	可決 (全員賛成)
議案第8号	熊本縣市町村総合事務組合格約の一部変更	構成事務組合の脱退に伴うもの	可決 (全員賛成)
議案第9号	工事請負契約の締結	市房山キャンプ場大規模改修土木工事に係る請負契約を締結	可決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可決 (全員賛成)

令和4年度水上村
一般会計補正予算(第8号)

一般会計補正予算 10億3,130万円 追加

歳入歳出予算の総額に10億3,130万円を追加し、総額を67億6,950万円とするもの。

ふるさと寄附金事業費2億9,048万4,000円、ふるさと応援基金積立金2億6,500万円、小中一貫教育校増改築工事費3億5,000万円などの事業が追加計上された。



一特別会計補正予算一

令和4年度水上村国民健康保険特別
会計(事業勘定)補正予算(第2号)

国民健康保険特別会計(事業勘定)

歳入歳出予算の総額に79万円を追加し、総額を3億1,124万9,000円とするもの。

令和4年度水上村簡易水道事業
特別会計補正予算(第3号)

簡易水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額に10万円を追加し、総額を9,657万4,000円とするもの。

令和4年度水上村農業集落排水
事業特別会計補正予算(第2号)

農業集落排水事業特別会計

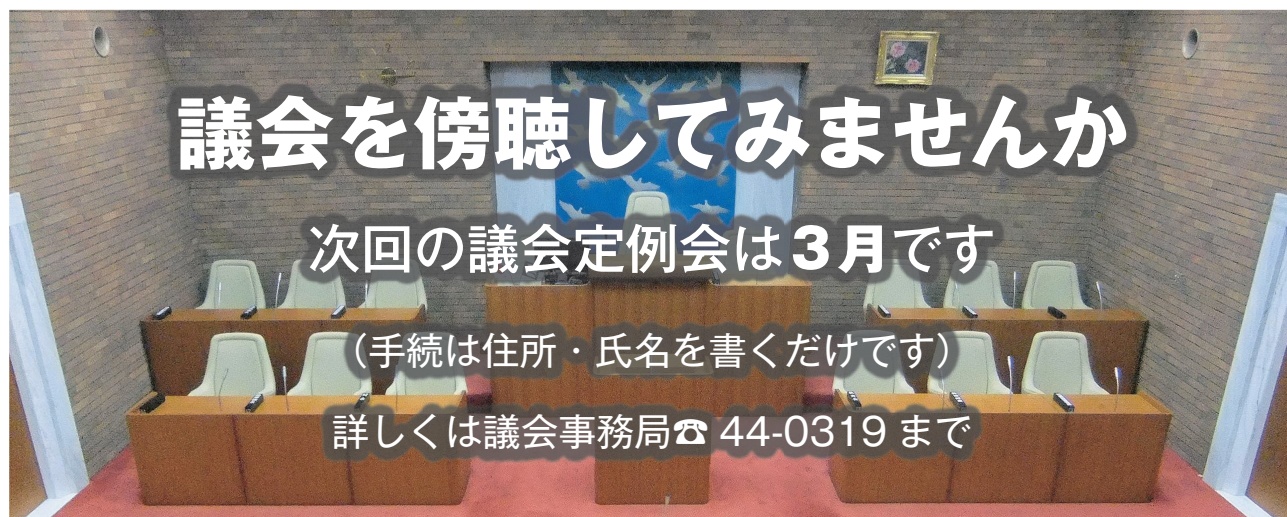
歳入歳出予算の総額に25万円を追加し、総額を6,392万4,000円とするもの。

令和4年度水上村下水道事業
特別会計補正予算(第2号)

下水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額に63万8,000円を追加し、総額を4,173万2,000円とするもの。

いずれも審議の結果、原案のとおり可決した。



村の現状！今後の見通しは！！

一般質問



杉野 久志 議員

Q. 次期村長選へ向けての
政治姿勢は

A. 残る課題を前進させるために
村政運営に邁進していく

問

2期、7年8カ月を振り返り、村長が掲げた4つの柱の進捗状況は。

答 中嶽村長

(主な実績と進捗)

「子どもと高齢者・障がい者に安
全で優しい村づくり」について

- ・ 出産祝い金の拡充
- ・ 子ども医療費を高校3年生ま
で補助

- ・ 令和2年度から保育料完全無
償化

- ・ 高等学校通学費等の補助事業
の創設

- ・ 高齢者等タクシー利用助成事
業の創設

- ・ 人間ドック受診料の補助率
アップ

「活き活き働くことのできる村づ
くり」について

- ・ 農林業振興施設等補助金の創
設

- ・ 気象情報配信システムの整備
- ・ サクラヴィレッジの整備

- ・ サテライトオフィスの整備

「共生(自立)の村づくり」について

- ・ 水上村総合防災情報システム
の整備(全戸に個別受信機配
置)

- ・ 民放ラジオ難聴解消事業

- ・ 「生活協同組合くまもと」と
生活応援包括協定

- ・ 道路工事補助金の拡充

「村行財政の健全化による村づく
り」について

持続可能で安定的な財政運営
を目指すには、総合計画をはじ
め、重要な計画を網羅した中期
財政計画に基づき財政の健全化
の将来予測を見定めて政策的経
費の確保に努めていく必要があ
る。基金(貯金)については、
平成26年度末の残高が33億1、
100万円。令和4年度末には、
46億7、100万円になる見
込みで安定した財政運営はでき
たと思う。

問 次期村長選へ向けての政治
姿勢は。

答 中嶽村長

令和の新たな時代において、村
民の負託に応えていくと同時に道
筋を作り次の時代に渡すことを考
えながら全身全霊を傾け、まだ
残る課題を前進させるために村政
運営に邁進していく強い決意を持
ち、重い決断を下した。



Q. インボイス制度の対応は

A. 登録申請し

システム改修を行う



山崎 隆浩 議員

問 令和5年10月に始まるインボイス制度について、地方公共団体も適格請求書等発行事業者の登録を受け、インボイスを交付する必要があるが一般会計に係る対応は。

答 田代総務課長

一般会計については、消費税の申告義務はない。しかし、温泉給湯施設使用料やスポーツ施設使用料などインボイス制度に対応していないと仕入れ税額控除ができないため、3月までに登録申請を行い令和5年度にシステム改修の予算措置を行う。

問 特別会計の簡易水道、下水道、農業集落排水、林業集落排水事業の対応は。

答 甲斐建設課長

登録申請を特別会計ごとに行い、適格請求書に必要事項が記載できるよう様式の修正やシステム改修を制度開始前までにを行う。

問 大規模な設備投資や改修等を行う場合、簡易課税では消費税の還付を受けられなくなると思うが、どのような対応をとれるのか。

Q. 合宿利用者に植樹を検討しては

A. 観光振興につながるため、前向きに検討

答 甲斐建設課長

現在、簡易水道、下水道事業は簡易課税方式により消費税申告を行っている。今後、湯山、岩野地区の簡易水道施設の全面改修工事がある。事業着手にめどが立てば簡易課税から本則課税への変更を考えている。

問 各種団体等に所属されている事業者は、講習会等で制度の理解も深められていると思うが、それ以外の事業者についての対応は。

答 西本税務住民課長

説明を受ける機会がない事業者や免税事業者に対し、税務署の職員を招き村単独の説明会を開催する。

問 1年間に宿泊される高校生の合宿者数は。また、長期合宿の学校は何泊ほどされるのか。

答 川俣地方創生推進課長

令和3年度の高校生延べ宿泊者数が1,573泊で3泊4日が平均とすると、500人以上の利用がある。また、長期の合宿では1年間で20日以上以上の学校もある。

問 高校生合宿利用者は、毎年170人程度卒業され、水上村に「あしあと」を残していただくため頻繁に利用していただく学校に対し、毎年2本ほど桜や紅葉などを植樹していただいたらどうか。

答 川俣地方創生推進課長

植樹木の選定、時期、場所など検討事項はあるが、合宿の思い出となり観光振興にもつながるなど、相乗効果も見込める取組みと感じたため、前向きに検討したいと思う。



第 7 回 臨 時 会

10月6日開催

○令和4年度水上村一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算の総額に4億3,420万円を追加し、総額を57億3,820万円とするもの。

主に台風14号被災に伴う農地等災害復旧費2,400万円、林道施設災害復旧費1億6,700万円、公共土木施設災害復旧費1億4,000万円、単独災害復旧費5,000万円などの事業が追加計上された。



○条例などの審査

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	工事請負契約の締結について	市房山キャンプ場大規模改修建築工事に係る請負契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第2号	工事請負契約の締結について	村道石舟五本松線道路改良工事に係る請負契約を締結	可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可 決 (全員賛成)

編集後記

今年の元旦も昨年同様、雲一つない青空で穏やかな一日でした。

一方、世界に目を向けてみると「withコロナ」ということもあり、少しずつコロナ前に戻りつつあるようですが、まだまだ終息しそえないと感じています。余計になんでもない日常がとてもありがたく、人は人と関わって生きているのだと今更ながら思い知らされます。いつも気にかけてくださる先輩の方々、心許せる大切な友人、そして同じ理想に向かい高め合いながら活動をつないでいく仲間たち、本当にいつもありがとうございます。

議会だよりも米本委員長を筆頭に、議会の活動ができるだけ詳しく、分かりやすいようにお伝えしてきたつもりです。ご意見等ありましたら、広報委員会までお伝えください。

まだまだ寒い日が続きます。お体には気を付けてられお過ごしください。

本年もどうぞよろしく願いたします。

山崎 隆浩

広報特別委員会
委員長

委員長

米本宗徳

副委員長

山崎隆浩

委員

杉野久志

尾前武志

